

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

今福小	学校
-----	----

児童数	24
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.73	20.27	29.18	41.45	47.18	9.30	152.27	26.64	53.82
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.62	16.92	34.33	37.77	30.77	10.05	138.08	14.92	52.42
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

各種目の結果では、市・全国を上回っているのは、男子は「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の8種目中6種目であった。女子は、「握力」「ソフトボール投げ」の2種目であった。体力合計点は男子は全国を上回り、女子は大阪市と同水準だった。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、男子も女子も「好き」「やや好き」を合わせると、100%であった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子が9.1%、女子が15.4%であり、男子は全国と同じで女子は市、全国を下回った。「体力・運動能力向上の目標を立てている」の質問では男子が90.9%、女子が84.6%目標を立てていると答えており、できなかったことができるようになったときに体育の授業が楽しいと答えている児童は男子が90.9%、女子が92.3%である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業では、課題に応じた場の設定や自分の目標を持たせることにより、記録に挑戦したり、競い合ったりすることの楽しさを味わっている。お互いに教えあう時間を取り入れ、各個人の伸びや成果を指導者や友だちが認め励ますことで意欲的に活動することができた。また、学級全員で遊ぶ時間を1日1回設け、鬼ごっこなど運動量の多い遊びを取り入れた結果、体を動かしてすっきりとした気持ちになる爽快感を感じる児童が増えている。学校全体では委員会活動の児童が楽しい遊びを企画したり、縦わり班で大なわ大会を実施したり、「今福ランニングタイム」で少しでも楽しんで運動ができるようにしている。1週間の運動量の個人差はまだ大きい、多様な運動の経験をさせたり、楽しく目標を持って取り組めるような工夫を引き続き続けていくことにより、生涯にわたって運動に親しむことのできる資質や素地を作っていきたい。